



# いたわり

2008年6月、No.89

（おのゝこ）健康新聞

## 第29回 「梅雨から夏への健康法」

〈日時〉6月12日(木)午後2~3時  
〈場所〉くすりのキュート玉名店2階 健康教室

## 第4回 「マザの会 (母乳育児・子育て・不妊相談会)」

〈日時〉6月25日(水)午後2時~3時30分  
〈場所〉くすりのキュート玉名店2階 健康教室  
〈講師〉むなかた助産院 助産師 賀久はつ先生

## 第31回 「くすりのキュート植木店健康茶話会」

〈日時〉6月16日(月)午後1時30分~2時30分  
〈場所〉くすりのキュート植木店 店内

くすりのキュートの健康教室

# 感謝の工場！満足の懐石！感動のTAO！

工場



5月15日 待ちにまつた「第2回緑の輝きバスター」E行いました。おはくろ工場見学。エラドグリンのフールの前に立つと、どんどんエネルギーが注入され元気になっていくよ。工場に行くと、どれだけの手間暇をかけてクローラの培養、製品作りと研究をされ続けているかが良くわかり、信頼し体に入れる事ができると皆様言われていました！次は恵久保の懐石料理のフルコース。手入れされた庭園。雰囲気も良くて料理もずくおいくして、じもおなかも大満足でした。11日は最後、和太鼓の公演です。演員の久留米石橋文化ホールは始まる前から熱気いんです。TAOの演奏は普通の太鼓とは全く違う！こればかりは見ごみなしとわかりません！60兆の細胞一つ一つに和太鼓の振動が伝わり心と体が歓喜に震えます。感動！感動！感動！の太パレードでした。クローラの工場見学とTAOで元気一杯になり、興奮して帰路につきました。次回のバスターは7月7日です。

※今年もクローラ工場のTAO貸切り公演が12月16日(火)に開催されます！  
1人でも多くの皆様と感動を分かち合いませんか！

# 本当は怖い『脂肪肝』

「海難事故にあい76日間生き延びたキャラハン氏の話」

アメリカ人のスティーブン・キャラハン氏は1981年の冬、自身で設計した小型ヨットで大西洋横断の航海に出発する。出航1週間後の2月4日に突然の衝撃と共にヨットが浸水して、救命ボートに乗り換えなくてはならなかった。食料も飲料水もほとんど持たないまま、漂流を開始。原始的な飲料水製造機で、海水をわずかつつ太陽熱で蒸留して水を作り、水中銃のモリを使って救命ボートに集まるシイラを獲って生き延びた。普通は90%の人がストレスなどで死んでしまうけど、かなり強い精神力を持ちパニックや自暴自棄を乗り切って76日間の漂流の末、カリブ海域で地元の漁師に拾われ、無事生還した。



体は創食状態になると、最初に「エネルギー源としてブドウ糖」を使い、次に体に蓄えた「脂肪」をブドウ糖に変えて使い、最後は「たんぱく質」をブドウ糖に変えてエネルギーを作ります。キャラハン氏はボート上での生活のため、足はまるで胴体に生かぶらさかっているようにやせて細くなり、お尻の肉は削り落ちて、魚を獲るための上半身の筋力は落ち、頭脳は76日間ずっと明晰であったそうです。

キャラハン氏が書いた「大西洋漂流76日間」

しかし、生還後に検査をしたら「脂肪肝」になっていたのだ。創食状態の体は、一番大事な「脳細胞」を守るため、とことん「脳の栄養ブドウ糖」を作り出そうとします。その為「肝臓は精一杯ブドウ糖」を作る為に「脂肪肝」に「脂肪」ためこみをするのです。しかし、極限状態の為、その脂肪をブドウ糖に変えるエネルギーがなくなると脂肪だらけの肝臓になってしまっていたのが、キャラハン氏の「脂肪肝」なのです！現代で「脂肪肝」と診断されている方は大変多く、しかしそれは創食からくる脂肪肝ではなく「創食からくる脂肪肝」です。しかし肝臓は創食の脂肪肝の状態と同じで、極限状態まで悲鳴を上げているのです！！

〈横良町 Kさんの症例〉3月にトマト農家の48才Kさんが手の皮フ病の相談に来られました。5年前から左手に湿疹がでて病院の薬を良くもたかと思ってもまた出来てくり返し手の皮が厚くなりゴワゴワで指も曲がらないひどい状態でした。お聞きしたら脳梗塞も膜下予備群でもっと薬を服用しており、と肝臓は「脂肪肝」でした！血液そのものの体質改善が必要な事、今肝臓が極限状態まで悲鳴を上げていて、その為に機能が低下し、アミノ酸を合成してきれいな皮つえを作るといいう仕事ができなくなりました。バイオリンの鍵穴と涙液を買って帰られました。どうもたかじ西して11日、5日に来店されました。なんと飲みだして3日目にあれ程ひどかった手荒れがきれいになり、治ったそうです。疲れやすかった体の調子も、すっかり良くなり、お酒に酔わなくなったと喜んでおられました。バイオリンが脂肪肝の肝臓を救って働きを戻したのが、今までできてなかった皮の再生ができ、手をきれいにして、体の調子も良くなったのEと思います。脂肪肝は体の極限状態、そしてそれを救ったバイオリンの活躍の症例でした！